

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1192
----	-------	-------	-----	---------

事業コード		事務事業名	警備取締事業
根拠法令等	モーターボート競走法		(A法令) B 条例 C 規則 D その他 E なし

①総合計画での位置付け

基本目標

施策名

にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇
------------------	----

②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
入場者（人）	1,145,970	870,709	842,580
収容人員（人）	35,132	35,192	35,232
開催日数（日）	192	186	180
臨時警備員数（人）	20,446	14,266	11,880

④成果指標

①

②

成果指標名	1日当りの場内収容率	1日当りの臨時警備員数
成果指標の説明	入場者/（収容人員×開催日数）×100	臨時警備員/開催日数

⑤事業の進捗状況

（モーターボート特別会計）

（千円）

		平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
成果指標 ①	計画	-	-	13.2%
	実績	16.9%	13.3%	-
成果指標 ②	計画	-	-	66.0人
	実績	106.4人	76.6人	-
事業費	事業費	82,216	57,359	51,968
	人件費	9,643	9,652	7,956
	(人数)	1.2	1.2	1.0
	合計	91,859	67,011	59,924
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	91,859	67,011	59,924

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	場内の秩序の維持が確保できた。
経済効率性	2	2	警備員の配置を皆無にすることはできない。
事務効率性	2	2	役割分担の中で有事の対応を常に各部所備えている。
必要性	3	3	フアンの安全確保のためには、必要不可欠。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	フアンの財産、生命、安全の確保を第1に、日々非常時に対応するため各隊員の教育、有事にあつては行動・連携を密に、信頼される安心安全な競艇場をめざす。
------	---	---	---------------------------------------------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
警備員等に対するフアンの声に応えるべき、各隊員の教育、行動・言動の徹底、品位の向上の指導を図った。 ナイター開催日は22名、通常配備13名の減員を図った。	ナイター減員分 (152日) 41,000千円 通常配備減員分 (186日) 29,000千円

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1192
事業コード		事務事業名	駐車場誘導・周辺警備事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	競走場への来場者に対して
手段	競走場周辺での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

③事業の概要

項目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
年間駐車数（台）	468,319	454,072	439,380
収容台数（台）	4,085	4,151	4,151
開催日数（日）	192	186	180

④成果指標

成果指標名	①	②
	1日当りの駐車収容率	1日当りの駐車数
成果指標の説明	駐車数/(収容台数×開催日数)×100	駐車数/開催日数

⑤事業の進捗状況

(モーターボート特別会計)

(千円)

		平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
成果指標 ①	計画	-	-	58.0%
	実績	59.7%	58.0%	-
成果指標 ②	計画	-	-	2,441台
	実績	2,439台	2,441台	-
事業費	事業費	82,216	57,359	51,968
	人件費	9,643	7,239	3,182
	(人数)	1.2	0.9	0.4
	合計	91,859	64,598	55,150
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	91,859	64,598	55,150

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	住民へのコミュニケーションもでき、信頼される警備をすることができた。
経済効率性	2	2	競艇に対する不安を払拭するには警備は不可欠。
事務効率性	2	2	嘱託職員・従事員・ガードマンとの関係、時には住民からの協力も必要とする。
必要性	3	3	駐車場及びJR三河塩津駅周辺、弱者保護および安全を確保するため必要性は高い。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	従来のガードマンの周辺警備と併せ青色パトロール車による巡回警備による「犯罪の抑止力」により住民の安全を確保するとともに、不安の払拭が図られる。
------	---	---	-------------------------------------------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
青色パトロール車2台導入。 平成17年度から青色パトロール車による周辺巡回警備、平成11年度からナイター開催日は33名のガードマンを配置していたが22名の減員を図った。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1192
事業コード		事務事業名	競艇場内外清掃事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場内外での清掃を実施することによって
想定する成果	競走場の清潔の保持を確保する。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
年間ごみの量 (kg)	234,110	216,720	209,730
開催日数 (日)	192	186	180
清掃委託料 (千円)	98,359	86,313	84,597

④成果指標

	①	②
成果指標名	1日当りごみの排出量	-
成果指標の説明	ごみ量/開催日数	-

⑤事業の進捗状況 (モーターボート特別会計) (千円)

		平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
成果指標 ①	計画	-	-	1,165 k g
	実績	1,219 k g	1,165 k g	-
成果指標 ②	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	99,928	86,992	97,552
	人件費	6,429	3,217	3,182
	(人数)	0.8	0.4	0.4
	合計	106,357	90,209	100,734
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	106,357	90,209	100,734

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	施設全体の清潔保持。
経済効率性	2	2	清掃業者による委託で実施している。
事務効率性	2	2	清掃業者による委託で実施している。
必要性	3	3	場内外の美化のため必要不可欠である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	場内外全体の清潔保持、環境整理に努めている。
------	---	---	------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成16年度から臨時従事員による清掃は廃止し、全て清掃業者への委託とした。 清掃業者に対し、清潔保持およびフアンに対する配慮も忘れぬよう教育の徹底を図った。	

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1192
事業コード		事務事業名	救護・苦情等処理事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令 B条例 C規則 Dその他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場内での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
事案（救護・苦情等）件数	329件	236件	226件
年間開催日数	192日	186日	180日

④成果指標

成果指標名	①		②	
	開催日1日当りの事案発生率			-
成果指標の説明	年間場内事案件数/年間開催日数			-

⑤事業の進捗状況（モーターボート特別会計）（千円）

		平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
成果指標 ①	計画	-	-	1.2件
	実績	1.7件	1.2件	-
成果指標 ②	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	81,918	57,066	51,676
	人件費	6,429	1,608	1,591
	(人数)	0.8	0.2	0.2
	合計	88,347	58,674	53,267
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	88,347	58,674	53,267

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	「サービスセンター」と称し、場内ファンの窓口として総合的な役割を果たしている。
経済効率性	2	2	囑託職員で対応している。
事務効率性	2	2	競走に関する事案については効率性は低い。
必要性	2	3	「窓口」を設けファンの声、場内トラブルの処理をする。
小計	8 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	8 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	ケガ人に対する日々の対応は、各隊員連携が出来ている。競走に関するような専門分野に対する事案は時間を経過することなく対応する必要がある。「サービスセンター」は、ファンの声の窓口として不可欠である。
------	---	---	---------------------------------------------------------------------------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成17年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	1197
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	場内無料ドリンクサービス事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇場入場者に
手 段	自動給茶機により無料ドリンクサービスすることによって
想定する成果	ファンのニーズに応えることで、来場促進、売上げ増につなげる。

③事業の概要

項 目	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度計画
有料入場者数	966,092	654,536	645,000
ドリンクサービス 箇所（数）	一般入場者用5箇所・ 指定席・来賓室・メンバーズルーム	一般入場者用5箇所・ 指定席・来賓室・メンバーズルーム	一般入場者用5箇所・ 指定席・来賓室・メンバーズルーム

④成果指標

成果指標名	① 入場者一人当たりの費用額	②
成果指標の説明	総事業費／有料入場者数	

⑤事業の進捗状況（ モーターボート競走事業特別会計 ）（千円）

		平成16年度決算	平成17年度決算	平成18年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	54円
	実績	54円	59円	-
成果指標 ②	計画			
	実績			
事業費	事業費	50,456	36,495	33,431
	人件費	1,607	2,413	1,591
	（人数）	0.2	0.3	0.2
	合計	52,063	38,908	35,022
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	52,063	38,908	35,022

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	サービス提供場所は適正箇所数と考えられる。 ファンに定着している。
経済効率性	3	3	直接業務を臨時従事員から委託業者にしたことで人件費が2/9以下になった。コストの低減に寄与。
事務効率性	3	2	十分見合った成果をあげていると考えられる。
必要性	2	2	入場者に対し絶対的にこの事業サービスを要するか、または一般事業者が参入し有料化で対応することも考えられる。
小計	11 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	—	—	
合計	11 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	受益者から不評はなく従来と同様なサービスの提供ができています。
------	---	---	---------------------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
一般入場者用5箇所の業務を平成18年1月から臨時従事員から業者委託化を図った結果、9人から2人体制に移行した。（事業費のうち直接業務人件費と業者委託料との対比） 単価が高く人気のないコーヒーの提供は止めた。	概算2,437万円/年間 平成18年度差額試算相当分 臨時従事員9人×307万円＝2,763万円 委託料326万円

⑧今後改善すべき点

無料サービス全般はどこまでが適当か？集客への寄与度は？今後十分検討すべき事項であり、改善の方向を模索することに努める。

⑨平成19年度予算に反映する項目

--

⑩今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】